



オーハ、オーハ!!

アラスカ篇 カリフォルニア・カナダ篇

開高 健

写真＝高橋 昇



 集英社文庫

オーパ、オーパ!!

アラスカ篇
カナダ・カリフォルニア篇

1990年11月25日 第1刷

定価はカバーに表示してあります。

1991年4月10日 第3刷

著者 かい 開 ころ 高 たいし 健
たか 高 はし 橋 のぼる 昇

発行者 若 菜 正

発行所 株式会社 集英社

東京都千代田区一ツ橋2-5-10
〒101-50

(3230) 6100 (編集)

電話 東京 (3230) 6393 (販売)

(3230) 6080 (製作)

印刷 大日本印刷株式会社

本書の一部あるいは全部を無断で複写複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

落丁・乱丁の本が万一ございましたら、小社製作課宛にお送りください。
送料小社負担でお取り替えいたします。

© Y.Maki & M.Kaiko & N.Takahashi 1990

Printed in Japan

ISBN4-08-749652-X C0195

開館章 高橋健

写真 高橋昇

集英社



アラスカ篇
カリフォルニア・カナダ篇

OPA! 何事であれ、ブラジルでは驚いたり感嘆したりするとき、「オー・パ！」という。



大人と子供の
ちがいは
持つてる玩具の
値段のちがい
だけである。

—アメリカ・無名氏—

宣誓！……

すでに四年前のことになるが、

一九七八年にアマゾン紀行を『オー・パ！』と題して出版した。

その後記に“蛇足”として一行入れ、

“PART II としてももう一度ブラジルを攻める”

という意味のことを書きつけた。

そしてそれはPLAYBOY誌に掲載されるはずであった。

それまでにすでに両肩がへしゃげるほどの筆債を背負いつつ

何一つとして消化していないのに軽佻の約束で

またまた一つ重債を背負いこんだのであった。

それ以後に「週刊朝日」でアラスカからフエゴ島まで、

北米大陸と南米大陸を一気通貫で釣竿を片手に縦断する旅を試みた。

これは自動車の走行距離にして52340キロ、

時間にして九カ月かかった。

これまた軽佻の口約束による筆債の一つだったのだけれど、

よれよれタタタ、どうにかこうにかマゼラン海峡をこえて

南米大陸の最先端にたどりつくことができた。

『もつと遠く！』『もつと広く！』と題し、

二冊本にして刊行し、やっと積年の筆債の一つを返すことができた。

こうするうちにも基礎体力は退潮ひきしおのように冷酷、着実に減退しつつけた。

地名、人名、年月日など、固有名詞をつぎからつへと忘失し、

酒を飲めば一日酔いが三日酔いになる。

手がしびれ、肩が痛み、ときには右半身が不随になって呻きもできず、

呼吸もできなくなることがあつた。燦たる、と一言つけておきたいが、落日のさなかに長い影をひいて歩み入りつつあることを、

日々の起居動作のたびに確認、再確認させられる。

われらの腕の橋の下を歲月なる川は日夜流れてやまず、

往年の黄顔の微少年は、

いまや、岸边に佇んで泡の行方を見送るのみである。

某日、禅機一瞬。

釣りはこれからもひそひそとつづけるけれど、

その紀行を本にするのはこれを最後ときめ、

今後、四年か五年かけて、残り一滴か二滴の体力を賭け、引退試合として世界のあちらこちらを訪ね歩いて一戦ずつ試みることを決意いたした。

アンドレスのチチカカ湖のニジマス。

パプア・ニューギニアのバラムンデイ。

アフリカのナイル・パーチなど。など。

“自然”の減退が日夜音をたてて東西と南北で進行しつつある

その一歩先をかすめて、よれよれのオッサンが

一ラウンドずつ挑戦して歩く所存である。

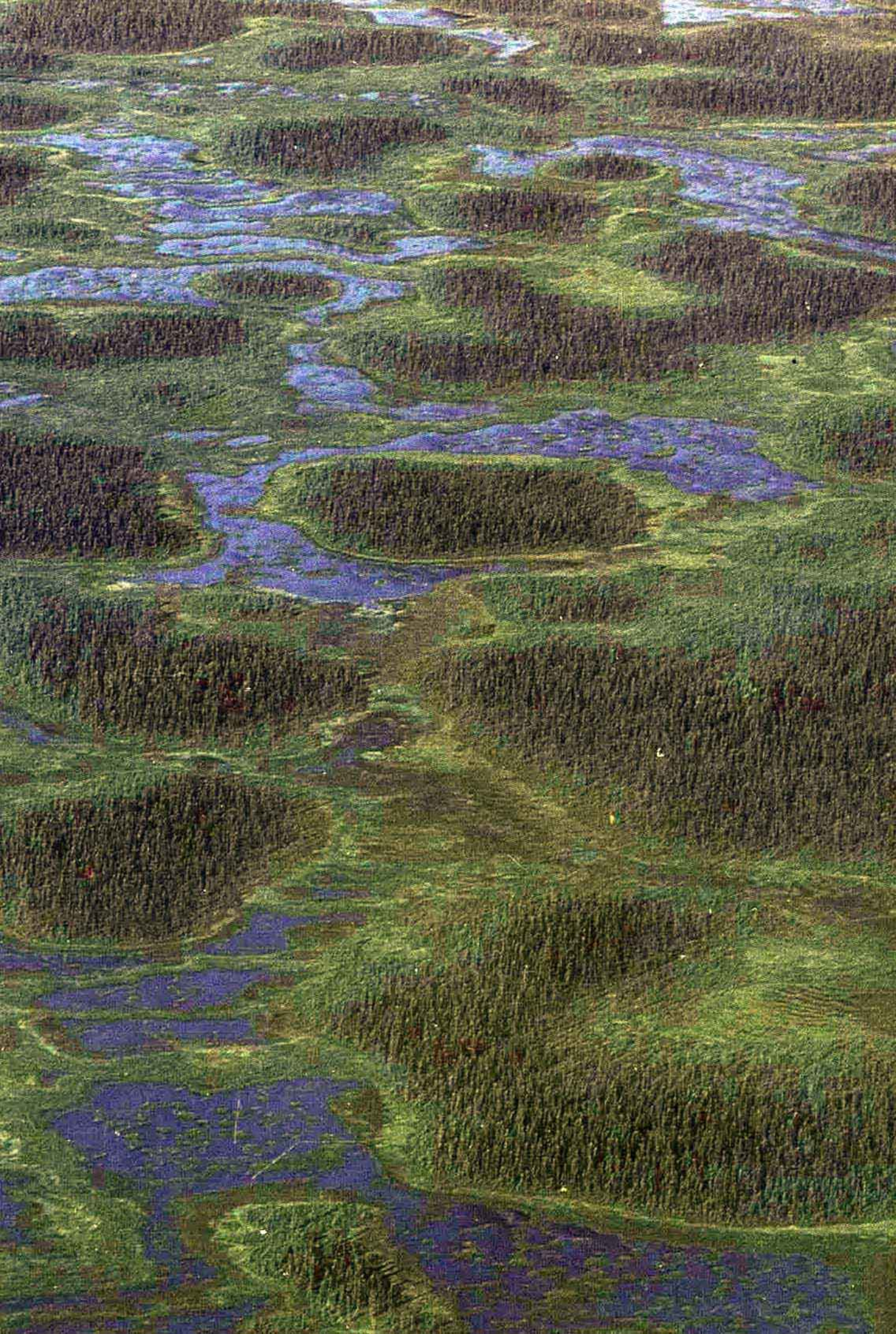
人あつて嗤^{わら}うもよし。笑うもよし。

そこで、そのファイナル・マッチの第一ラウンドは。

ベーリング海のオヒョウ。。

Here we go!!.....

一九八二年八月某日 開高 健



アンカレッジを一步でると、そこからすでに大原野





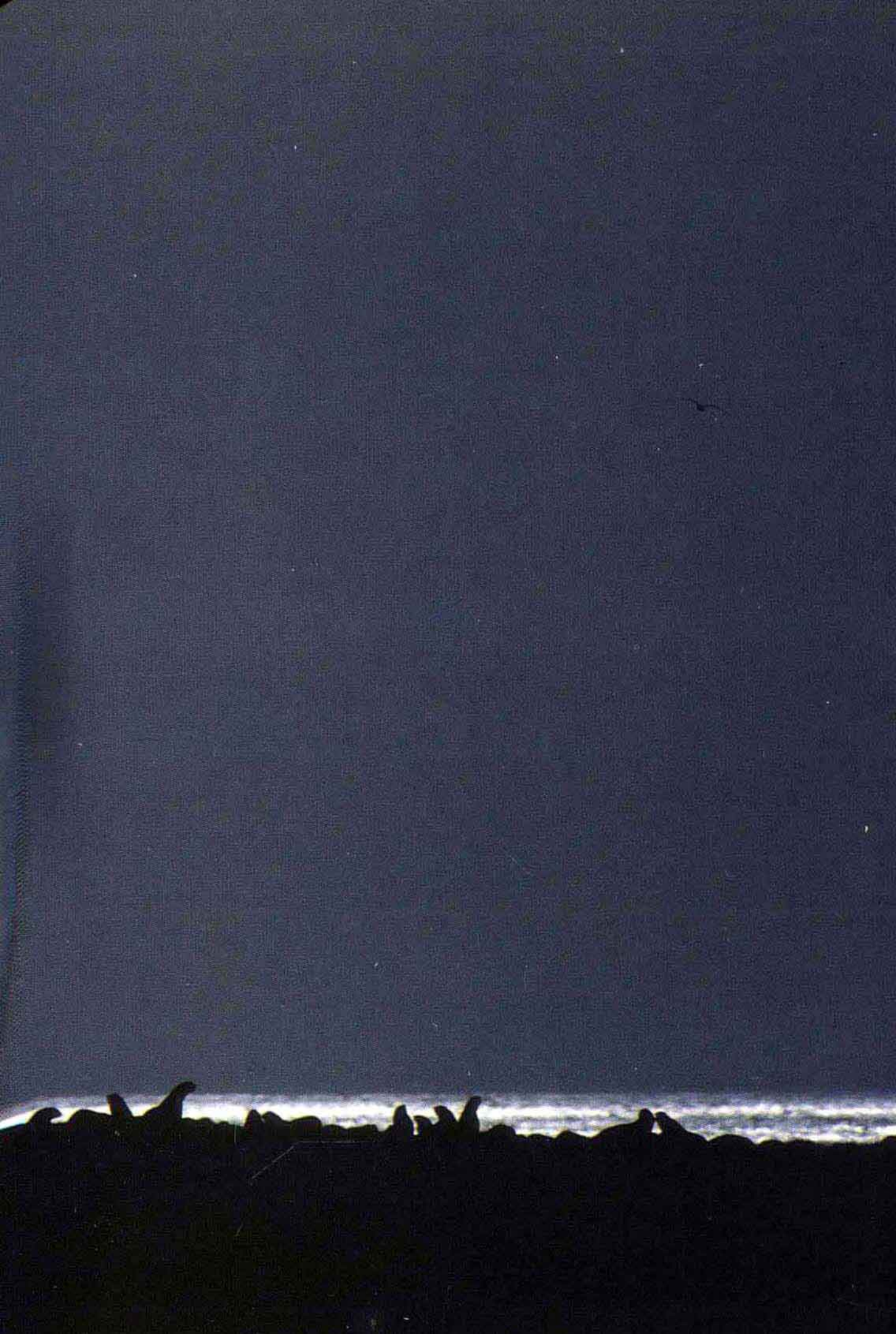
夏のコロンビア大氷河（空撮）



氷河の末端。夏になると解けてゆるみ、ヒビが入る。船で接近して汽笛を鳴らすと、氷の大岩壁が轟音を立てて崩れ落ちる。時には千ミの叫び声でも崩れ落ちる







セント・ジョージ島のオットセイたち。最盛期には約20万頭～30万頭。いまはメスたちがやってくるのを待ちうけているところ。1年の80パーセントが曇天または荒天で、すっかり晴れる日は3日もないという島である。しかし野性の鳥、獣、魚にとっては豊饒の海である。